

表面に続きまして 令和2年度9月定例会での川崎照正による一般質問登壇の内容の一部をダイジェストでレポートします。

質問② 水道事業における危機対応について

●川崎照正 質問：ライフラインとしての水道供給の継続に向け、そのうえでの感染拡大防止への取組策について、また、万一、職員の感染者が発生した場合、業務継続に万全を期すため、どのような対策をとっているのか伺います。

●水道局長 答弁：ライフラインの維持に従事する職員として、感染防止策を徹底し、事業継続に万全を期しております。水道水の安定供給を継続するため、非常時の優先業務の抽出や応援職員のリスト化など、準備体制を整えたところです。特に水道水の供給を行う浄水場や配水場の運用部門については、経験者リストを作成し、万一、勤務する職員が罹患した場合でも、安全な水を継続して供給するための体制を確保しているところです。

質問③ 未来に向けた盆栽振興について

●川崎照正 質問：世界盆栽大会の最終日に、市長は「さいたま宣言」として、次の100年に向けて積極的に盆栽振興に取り組むと宣言をしました。この宣言からこれまでの取組内容、そして、今後、どのように盆栽振興を進めていくのか伺います。

●市長 答弁：大盆栽まつりと各種イベントの開催、国際盆栽アカデミー等の実施に取り組み、SNS等のツールを用いたPR活動に取り組んできました。今後は「持続可能な盆栽業経営」、「後継者の育成、技術の伝承」、「大宮盆栽ブランド強化、PR」、「盆栽村の街並みの維持と村の魅力づくり・活性化」という盆栽振興計画に基づきアクションプランを作成し、更なる盆栽振興に取り組んでまいります。

県の施設である「自治人材開発センター」の敷地の一部を有効活用した盆栽関連施設の充実について要望が出されています



自治人材開発センター

盆栽美術館

「盆栽美術館」を上から見た写真

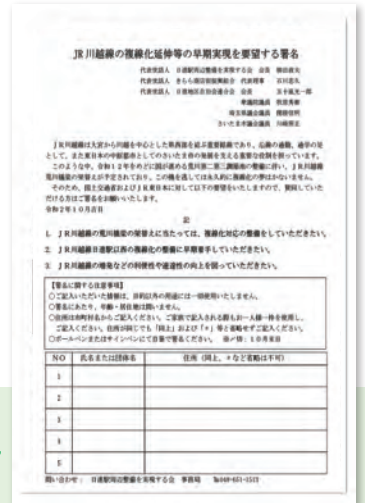
出典：Google

質問④ JR川越線の複線化に備えて

●川崎照正 質問：さいたま市、川越市、日高市、飯能市の4市は、「JR川越線整備促進協議会」を組織して、毎年複線化やダイヤの増強を要望していますが叶っておらず、ダイヤにおいては減少しています。2020年時点でも複線化は予定されていません。そこで質問ですが、4市の市長・議長で組織する「JR川越線整備促進協議会」は、最近では開催されていないと聞きます。開かない理由は何なのでしょうか。

●都市局長 答弁：JR川越線整備促進協議会が最近開催されない理由ですが、この協議会につきましては、JR川越線の複線化を促進し、輸送力増強と関係地域の発展を図ることを目的に、川越市が中心となって昭和55年に設立されて以降、沿線市長及び議長を役員に、川越市を事務局として、年1回、総会を開催しております。今年度の総会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面での開催が行われました。

本市としては、JR東日本に複線化を検討していただくよう、毎年、埼玉県が実施する鉄道整備要望や、JR川越線整備促進協議会を通じて要望を行っております。



JR川越線の複線化延伸等の早期実現を要望する署名が、地元の皆様からたくさん集まっています。



赤羽こ線橋付近掘削部



新大宮バイパス交差点(宮前第3踏切)



宮前第3踏切から大宮方向



宮前第3踏切から新大宮バイパス方向

JR川越線沿線視察を、JR東日本の皆様や、西区の議員の皆様と共に行いました。沿線住民がとても増えており、ラッシュの混雑度も増えていますので、複線化による電車の運行本数の改善が望まれます。

皆様からのご意見やご要望をお待ちしています

さいたま市議会自由民主党議員団 川崎照正

〒331-0823 さいたま市北区日進町3-486-3

TEL: 048-663-2510 / FAX: 048-669-3455

川崎照正
市政レポート
ホームページ

